

ビジネス

夢実現に向けての創業考

税理士 新田の

「学ぶ!独立・起業」Vol.5

テーマ: 個人事業と会社の違い



講師 税理士・CFP 新田 哲也 (38) 税理士法人 新田事務所代表

現在、熊本で、独立・起業家の相談、支援の傍ら、各種セミナー、講演を行っている。詳しくはHPで。

個人事業でも会社でも事業を行うという行為は同じですが、各論点で違いが存在します。最初に相違点を把握したうえで、これから始める事業形態を選択してください。影響の大きい主な相違点を順にみていきます。

まずは、税率構造の違いです。個人事業は、基本的に事業所得となり、他の所得と合算して課税されます。所得税と住民税を合わせて最大50%の累進課税方式です。これに対して、法人税の税率は基本的に一律です。法人住民税と合わせ約40%となります。このため、利益(所得)が同額でも事業の形態により納税額に有利不利が生じてくる場合があります。

次に、経営者給与です。個人事業の場合は、経営者に給与の概念がありません。収入から経費を控除したものが納税前の手取額となります。会社の場合は、会社という自分とは異なる法人格から役員報酬として受取ることとなります。この際に気をつけたいのは、年の途中で自由に役員報酬

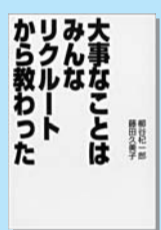
額の変更ができないということです。取締役会等で定められた報酬額を1年間に変更することなく継続していかなければなりません。特に設立年度等は、慎重に報酬額を決定します。

また、株式会社を設立するとなると、登録免許税が最低でも15万円必要です。その他、印紙税や定款作成費用もかかってきます。対して、個人事業は手軽に始めることが可能です。必要となる初期費用の大小も選択のポイントです。

最後に、社会保険の加入義務です。個人事業の場合は、常時雇用する従業員が5人未満であれば加入は任意(業種により5人以上でも任意)となります。会社の場合は、従業員の人数に関わらず加入義務がありますので注意してください。そのため、社会保険料の約半分は会社が負担することとなります。

事業を行うことは同じでも、組織をどうするかによって他にも様々な違いが生じてきますので、事前にしっかりと把握・検討するようにしてください。

新田事務所 検索 独立・起業に関するご相談はお気軽に。 ☎096-285-3301



おすすめの一冊

「大事なことはみんなリクルートから教わった」

(雷鳥社、柳谷紀一郎著・藤田久美子著)

解説 人材輩出企業として必ず名前が挙がるリクルート。同社から独立・起業した経営者11人へのインタビューを通じ、リクルート出身者が創造性、先見性など「ビジネスに必要な知恵」をどう培ったかを明らかにする一冊です。

創業(独立・開業・起業)支援シリーズ 実践者インタビュー⑥

細かな顧客ニーズに応えられるシステム提供を

ゼロシステム(株)



社長 左迫間 昭蔵さん(56歳)

「医療分野におけるニッチな市場をターゲットに、顧客の細かなニーズに応えられるシステムの開発・販売を手がけたい」と話すのは、ゼロシステム(株)の左迫間昭蔵さん。

独立以前はコンピュータシステム開発・販売の大手企業に勤務。医療分野のシステム提案など長年の営業経験を生かし、2006年に同社を設立した。当初は息子さんをシステム開発者に二人三脚で医療分野のシステム開発・販売事業をスタート。事業の拡大に伴い、昨年3月から南熊本3丁目のくまもと大学連携インキュベータに入居した。同社ではとくに院内の「物流管理」や「透析業務支援」、「じょくそう管理」など、細かな

顧客ニーズを反映した中小規模の業務支援システムを中心に事業を拡大。「営業の現場で出たお客様のご意見やご要望に即座に届いていけるシステムこそ、当社の強みであり、大手企業にとってのニッチな市場」と語る左迫間さん。「うまい“God System”、やすい“Easy/LowCost”、はやい“Speedy”をコンセプトに、今後も医療機関や病院様に満足いただけるシステムを提供していきたい」と新たな開発にも力を入れ、顧客ニーズを反映した細やかなシステム提供を目指している。



南熊本3丁目・くまもと大学連携インキュベータ内の同社オフィス 熊本市南熊本3丁目 ☎096-243-3511

インキュベーション施設訪問 ◆ Vol.2

大学連携型起業家育成施設「くまもと大学連携インキュベータ」

独立行政法人中小企業基盤整備機構が設置・運営する熊本市南熊本3丁目の「くまもと大学連携インキュベータ」は、地域の大学の研究成果を活用した大学発ベンチャーや、地域企業の新事業創出などを支援する大学連携型の起業家育成施設。現在、医療・バイオ・ものづくり・ITの関連企業など20社が入居しています。施設にはインキュベーションマネージャーが常駐し、経営相談をはじめとした総合的な支援や育成を行うと共に、ビジネスセミナーの定期的な開催やマッチングコーディネートなども

行っています。同施設では現在、研究室2室の入居企業を公募しています。入居期間は最長5年間。創業5年未満または大学発ベンチャーには熊本市の賃料補助もあります。入居対象者は大学等との連携による新製品の研究・開発や起業を計画する人など、詳細は同施設まで。



問い合わせ くまもと大学連携インキュベータ TEL096-364-5115 URL: http://www.kdri.jp

シリーズ企画 独立・開業・起業

創業講座

このコーナーでは独立心旺盛な読者向けに創業(独立・開業・起業)のポイント、各種団体のご協力でシリーズで紹介します。

第7回 成功するために必要な15の起業力

その⑤ レスポンス力 人間は皆、平等に1日24時間ある

ある会社は、登録されている外注先に仕事の問い合わせメールを送り、最初に戻ってきた会社に優先的に発注をしています。もちろん、少人数の会社やいつもコンピューターの前にいることのできない業態もありますが、携帯電話へメールを自動転送するなどの工夫はできます。

仕事上の連絡には、12時間以内に返事を出すことが信用につながります。忙しくても、受信確認のメールはもちろんのこと、やれるかどうかを含め、結果が見えなければわかっている範囲の報告は必要です。

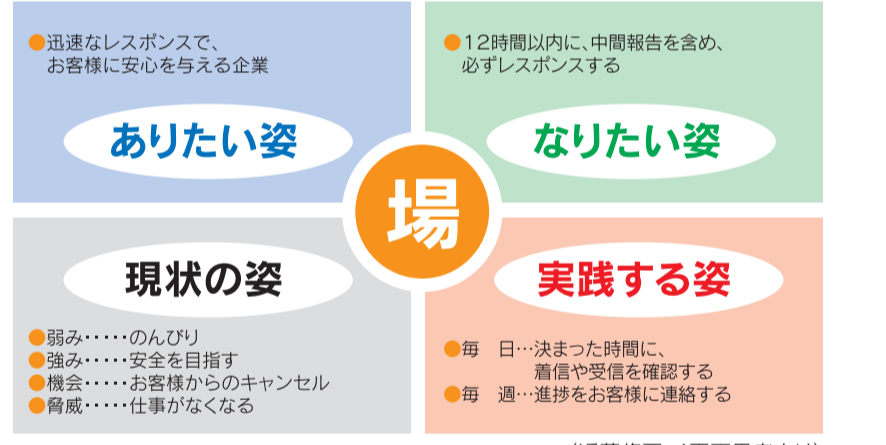
また、迅速なレスポンスをしていくことで、自分自身の仕事を溜め込まなくても済み、時間の節約と処理をしないといけないというストレスからも開放されます。

- ・携帯電話のレスポンス
 - 着信があれば、こちらから折り返し掛ける(登録外の携帯番号であっても)
 - ・その場で処理できることは、その場でやる 確認・連絡・発注等



4画面でみるレスポンス力のつけ方

【例】起業して初めて受注した仕事で、レスポンスが悪いと、お客様からキャンセルになりました。中途半端な回答をするよりは、きちんとわかってからと考えていたのが勘違いでした。性格的にものんびりなのも災いしているようです。



(近藤修司:4画面思考より)

成功している起業家

彼らは、あれだけ忙しいのに、「どうやって?」と思うほどともかく連絡が取りやすく、携帯でもメールでも、ほとんど12時間以内に返事が来ます。それだから、安心して仕事の依頼ができるのです。また、「後から」という発想がありません。その場で処理します。そのため、処理が多くても溜め込みません。

●次回は「感謝力」です。 (取材協力・熊本商工会議所)

創業支援インフォメーションコーナー

ベンチャーマーケット 二火会

～ビジネスプラン発表会～

開講日 平成22年9月14日(火) 15:00～17:20 ※商談会17:20～17:50 ※交流会18:00～19:30

会場 熊本全日空ホテルニュースカイ 参加費 無料(交流会参加は4,000円)

発表企業 (株)ラジカル、ゼロシステム(株)、(株)一次産業サービス、(株)ターボブレード

お問い合わせ 財団法人熊本県起業化支援センター TEL.096-287-4465

平成22年度 第10期 起業家育成塾

(主催:熊本市・熊本学園大学)

開講日 平成22年9月25日(土)～12月4日(土) 毎週土曜日10:00～12:10 全10回

会場 熊本学園大学 定員 40名程度 受講料 学生2,000円 一般10,000円

お問い合わせ 熊本学園大学 キャリア支援課 TEL.096-371-8046